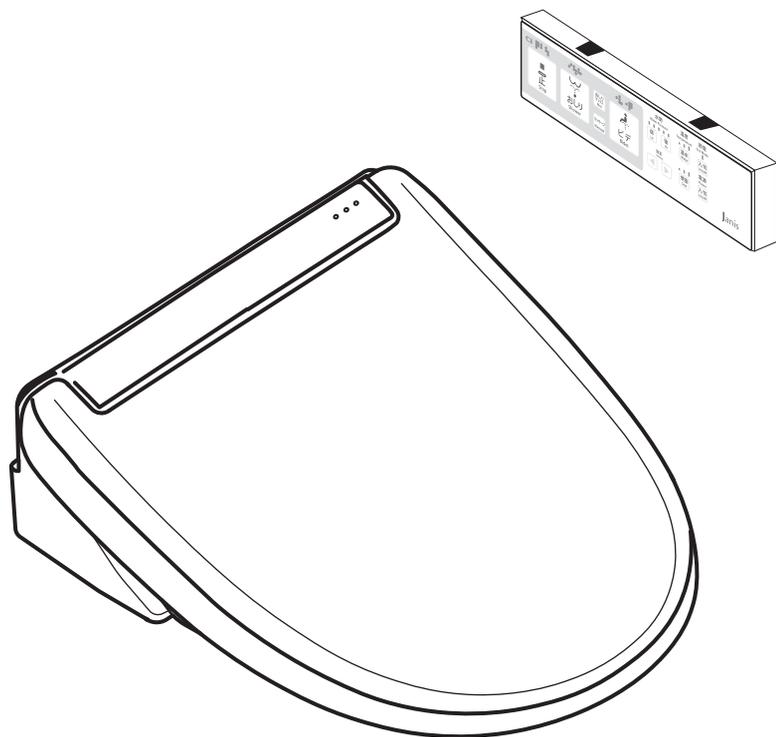


取扱説明書 JCS-320DRN

保証書付

目次

●安全上のご注意	1
●お願い	3
●各部のなまえ	4
●取り付け前の確認	6
●取り付けかた	7
●連立トイレへの取り付け	12
●使いかた	13
水勢の調節	15
温水・便座温度の調節	15
節電の設定	16
自動脱臭の解除	17
リモコンでの電源操作	17
知っておいていただきたいこと	17
●お手入れのしかた	18
●異常報知について	20
●凍結防止について	21
●故障かな?と思ったら	22
●仕様	24
●安全・安心にお使いいただくために	25
●保証とアフターサービス	26
●保証書	裏表紙



家庭用

- このたびは当社温水洗浄便座をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に本取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- 保証書は本取扱説明書の裏表紙に付いていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

はじめに

取り付けかた

使いかた

お手入れ・こんなときは

安全上のご注意

必ずお守りください

この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

・表示と意味は次のようになっています。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

・お守りいただく内容を次の図の記号で説明しています。

	この図表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この図表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告			
 分解禁止	絶対に分解したり、修理、改造はしない ●火災や感電の原因になります。		
 禁止	故障したままで使い続けない ●次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。 故障とは… ・配管や製品から水もれしている ・異音、異臭がする ・製品から煙が出ている ・製品に割れやひびが入っている ・電源プラグやコードおよび本体が異常に熱い ●故障したまま使い続けると、火災や感電、室内浸水の原因になります。 すぐに使用を中止し、販売店または当社に連絡してください。		
 水場での使用禁止	湿気の多い場所に設置しない ●火災や感電の原因になります。		
 水ぬれ禁止	本体や電源プラグに水やお湯、洗剤をかけない ●火災や感電の原因になります。		
 火気禁止	たばこなどの火気類を近づけない ●火災の原因になります。		
 禁止	給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない ●結露などにより、火災や感電の原因になります。		
 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因になります。		
 必ず行う	極度に免疫が低下して医師の治療を受けておられる方は、ご使用に際し医師にご相談ください ●身体への著しい障害をまねくおそれがあります。		
 必ず行う	低温やけどに注意する ●長い時間便座に座るときは、便座の温度調節を「切」にしてください。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">次のような方が暖房便座をご使用になるときは、周囲の方が便座の温度調節を「切」にしてください。</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・お子様、お年寄りなど自分で適切な温度調節ができない方。 ・病気の方、身体の不自由な方など思うとおりに動けない方。 ・眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方。 ・深酒された方、疲労の激しい方など眠り込むおそれのある方。 </td> </tr> </table>	次のような方が暖房便座をご使用になるときは、周囲の方が便座の温度調節を「切」にしてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様、お年寄りなど自分で適切な温度調節ができない方。 ・病気の方、身体の不自由な方など思うとおりに動けない方。 ・眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方。 ・深酒された方、疲労の激しい方など眠り込むおそれのある方。
次のような方が暖房便座をご使用になるときは、周囲の方が便座の温度調節を「切」にしてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様、お年寄りなど自分で適切な温度調節ができない方。 ・病気の方、身体の不自由な方など思うとおりに動けない方。 ・眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方。 ・深酒された方、疲労の激しい方など眠り込むおそれのある方。 		

⚠ 警告

 必ず行う	電源プラグの刃に付いたほこりは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む ●火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
 必ず行う	電源は交流100V定格15A以上のコンセントを単独で使う ●火災や感電の原因になります。延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。 ●照明器具を同じ配線でつなぐと照明がチラつく原因になります。 単独配線で使用してください。
 必ず行う	使用水は必ず水道水を使ってください ●使用可能な水圧範囲は0.069 (流動時)~0.735MPa (止水時) (0.7~7.5kgf/cm ²) です。 ●0.069MPa (0.7kgf/cm ²) 未満の低い水圧では、使用できない場合があります。 ●ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因になります。
 アース線接続	アース (D 種接地) 工事がされていることを確認する ●故障や漏電のときに感電の原因になります。
 必ず行う	お手入れの時には、必ず電源プラグを抜く ●感電の原因になります。

⚠ 注意

 禁止	便座本体に乗ったり、便ふたによりかからない ●割れたり、はずれたりしてケガをする原因になります。
 禁止	脱臭カートリッジには、洗剤や水をかけない ●洗剤をかけると塩素系ガスが発生し、気分が悪くなる場合があります。 万一、洗剤がかかったときは、すぐ換気をしてください。
 禁止	連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない ●水もれの原因になります。
 禁止	直射日光に当てない ●樹脂部品が変色・劣化する原因になります。
 禁止	お手入れのときは、うすめた中性洗剤 (台所用・トイレ用) を使用し、次のものは使わない ●トイレ用・住宅用洗剤 (酸性・アルカリ性)、ベンジン、シンナー、クレンザー および、ナイロンたわしなどを使用しない。 ●プラスチックを傷め、割れてケガをする原因になります。 ●連結ホースを傷め、水もれの原因になります。
 必ず行う	水もれが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める ●家財に損害を与えるおそれがあります。
 必ず行う	凍結による破損の予防を行う ●凍結すると給水配管や本体内部が破損して、水もれする原因になります。 暖房するなどしてトイレ内を暖めてください。
 必ず行う	電源コードが損傷したときは、必ずコードを交換する ●事故の発生を避けるため、電源コードが損傷を受けた場合の交換は、メーカー、 サービス代行業者又は同等レベルの資格を備えているものを行わなければなりません。
 必ず行う	長期間使用しないときは、電源プラグを抜き、便座内部の水を抜く ●安全のために電源プラグを抜いておいてください。 また、水が腐敗して皮膚の炎症などを起こすおそれがありますので便座本体内部の 水抜きを行ってください。
幼児、お年寄り、ご病気の方が使用されるときは、注意してあげてください。	

重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

故障したままのご使用や長年のご使用は、電子・電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります



定期的な点検をおすすめします

安心してご使用いただくため、**定期的な点検(有料)**をおすすめします。
また、**長期間(10年以上)**ご使用の温水洗浄便座は**買い替え**をご検討ください。
販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

故障したまま使わないでください

火災や感電、室内漏水の原因になります。
異常に気づいたら、**すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーへご連絡**ください。

温水洗浄便座・暖房便座を安全に使う3つのポイント

1

まず自分で安全チェックを

2

異常があれば販売店、工事店またはメーカーにご連絡を

3

長期間お使いの製品は点検と買い替えを

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

次のような症状は、火災や感電の原因になります。
電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、すぐに販売店、工事店またはメーカーへご連絡してください。

- 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある
- 便座コードがねじれたり、便座で挟み込んだりしている
- 便座にひびや割れがある
- 便座が異常に熱いときや、冷たいときがある
- 製品から水漏れしている(内部の電子・電気部品が被水)
- 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている(内部の電子・電気部品が被水)
- 電源コードが熱くなっている
- 電源プラグの差込部が発熱・変色している

発行元: 一般社団法人 **日本レストルーム工業会**

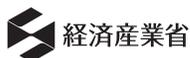
<http://www.sanitary-net.com/>

トイレナビ

検索



詳細はこちらをご覧ください



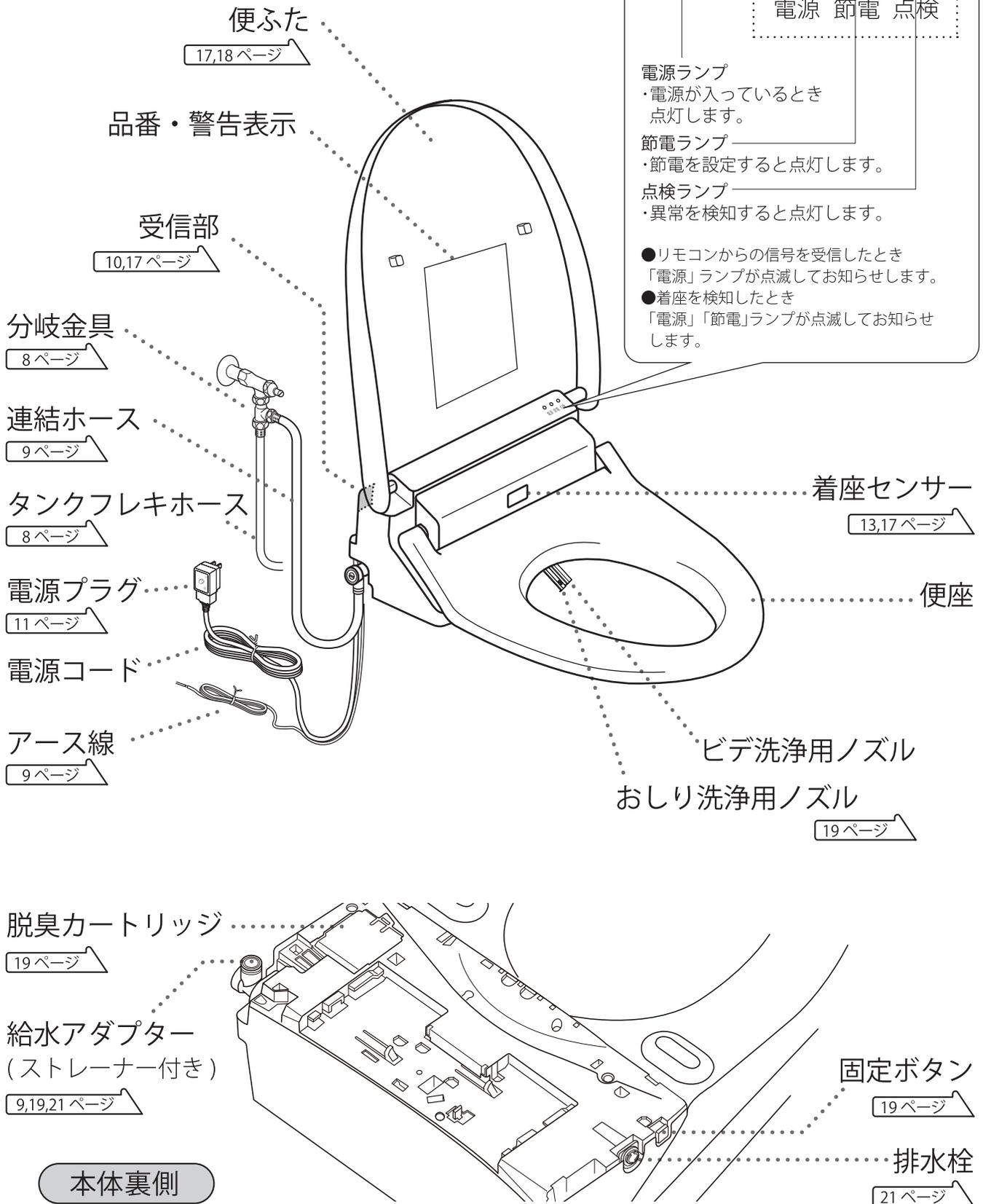
一般社団法人 **リビングアメニティ協会**

各部のなまえ



このマークの中の数字は、
主な掲載ページを示しています。

本体



本体表示ランプ

11,16,20 ページ

電源 節電 点検

電源ランプ

・電源が入っているとき
点灯します。

節電ランプ

・節電を設定すると点灯します。

点検ランプ

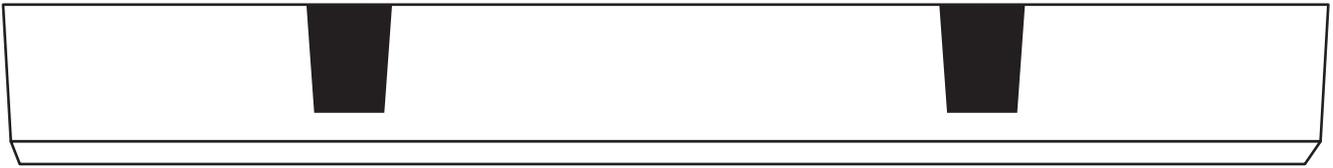
・異常を検知すると点灯します。

- リモコンからの信号を受信したとき
「電源」ランプが点滅してお知らせします。
- 着座を検知したとき
「電源」「節電」ランプが点滅してお知らせ
します。

リモコン

発信部 10,17 ページ

リモコン操作の情報を本体へ
発信します



[上面]

電池交換ランプ

ランプが赤く点滅したら
電池を交換してください

9 ページ

水勢ボタン

洗浄水の強さを設定します

15 ページ

おしりボタン

おしり洗浄を行います

11,14 ページ

温水温度設定ボタン

温水の温度を設定します

15 ページ

おしりマックスボタン

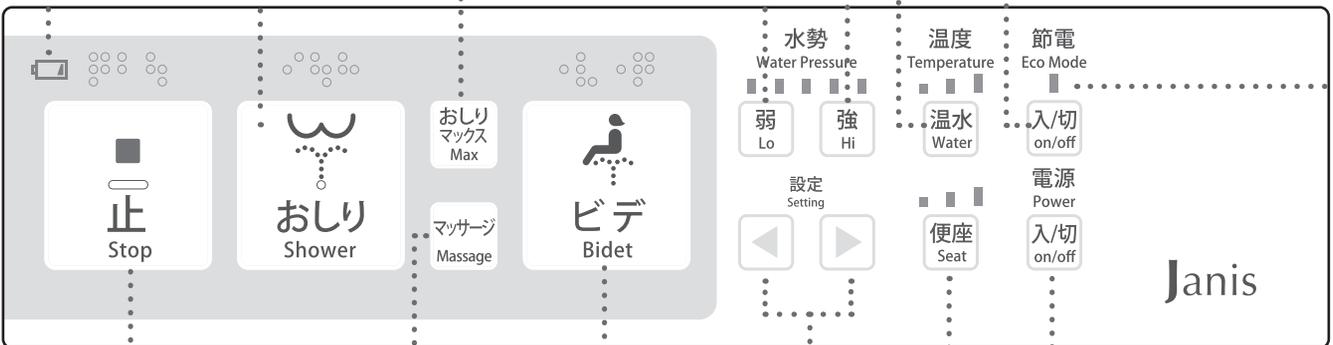
最大水勢でおしり洗浄を行います

14 ページ

節電ボタン

節電モードの入/切を設定します

16 ページ



[正面]

止ボタン

洗浄を止めます

14 ページ

ビデボタン

ビデ洗浄を行います

14 ページ

電源ボタン

電源の入/切を設定します
※洗浄中は操作できません

17 ページ

マッサージボタン

リズムカルな強弱のある
洗浄を行います

14 ページ

便座温度設定ボタン

便座の温度を設定します

15 ページ

設定ボタン

通常の操作では使用しません
本製品を複数台連立して設置
するときにリモコン信号の設
定を変更するためのものです

12 ページ

表示ランプ

ボタン操作により設定状態を表示します
使用後一定時間後に自動消灯します

15,16 ページ

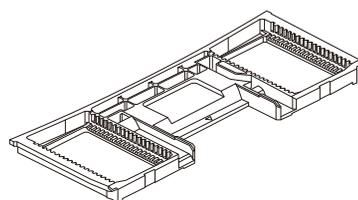
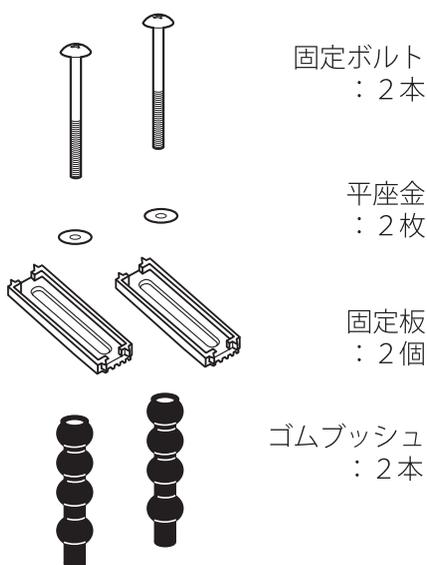
取り付け前の確認

給水について —— 使用水は必ず水道水を使ってください

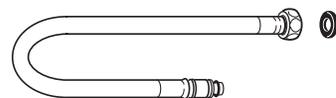
- 使用可能な水圧範囲は0.069 (流動時)~0.735MPa (止水時) (0.7~7.5kgf/cm²) です。
- 0.069MPa (0.7kgf/cm²) 未満の水圧では、使用できない場合があります。

付属品

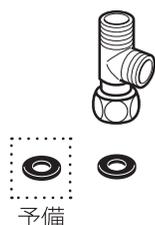
本体取り付け時に必要なもの



固定プレート
: 1枚

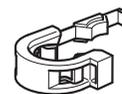
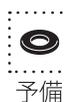


連結ホース (約1.0m) : 1本
[パッキン1個
(厚さ4mm) 付属]



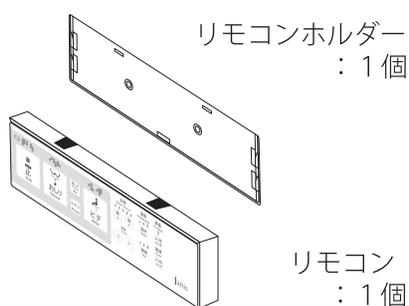
分岐金具
: 1個

パッキン
: 2個
(厚さ2mm)



クリップ
: 1個

リモコン取り付け時に必要なもの



単3形アルカリ乾電池
(動作確認用) : 2本



リモコン用両面テープ
: 1枚



ネジ : 2本



アンカープラグ
: 2本



※ロータンクと便ふたが干渉する場合、ロータンク側の干渉部へ貼付してください。

取り付けかた

用意する工具



モンキースパナ



⊖ドライバー



⊕ドライバー

取り付けかた

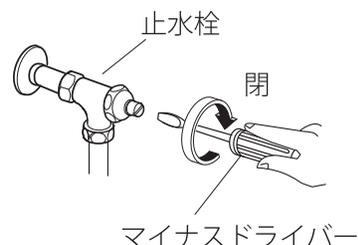
⚠ 注意

電源プラグは、設置工事が完了するまでは、コンセントに差し込まないでください。
●故障するおそれがあります。

温水洗浄便座の取り付け

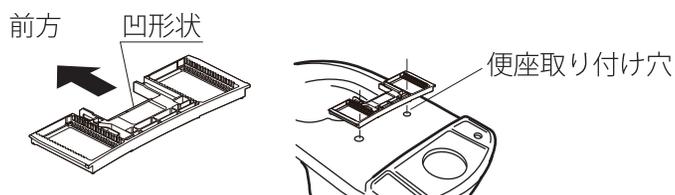
1 止水栓を閉める

- マイナスドライバーで止水栓を閉める。



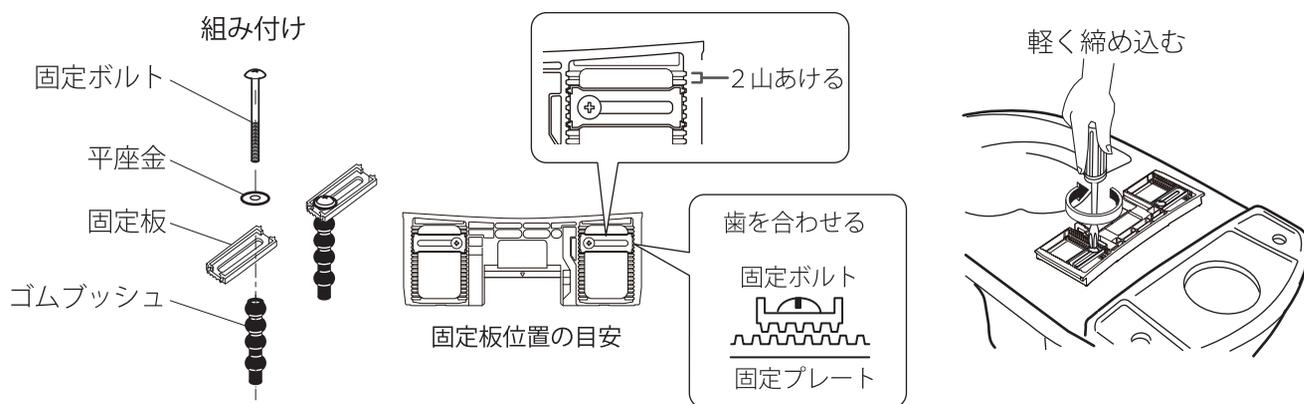
2 便座取り付け穴の上に 固定プレートを置く

- 固定プレートの方向を確認する。



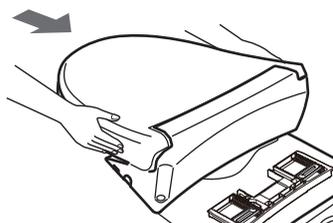
3 固定ボルト、平座金、固定板を ゴムブッシュに組み付け、便器の 便座取り付け穴に挿入し軽く締め込む

- ※ゴムブッシュに水を付けると挿入しやすくなります。



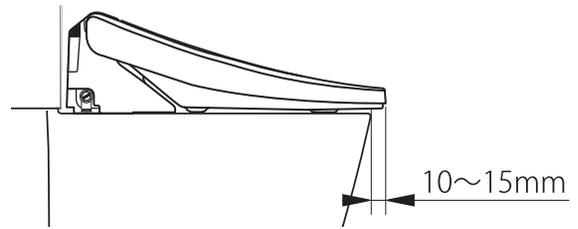
4 温水洗浄便座を固定プレートに 取り付ける

- 本体をカチッと音がするまで固定プレートの奥まで押し込む。



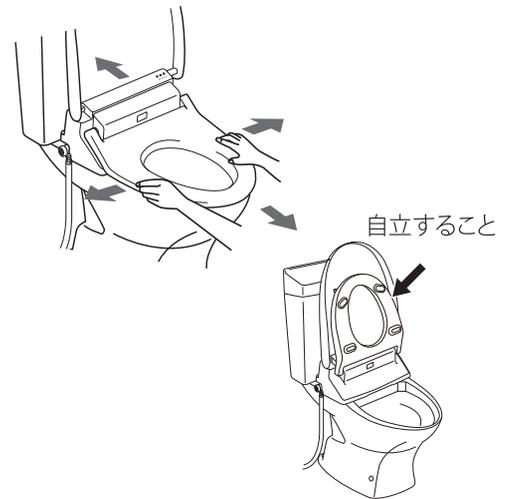
5 温水洗浄便座の位置を調整する

- 便器の中心と便座の中心を合わせ、便座の出を左右均等にする。
- 便座の先端が便器より10～15mm前になるように固定プレートの位置を調整する。



6 温水洗浄便座をしっかりと固定する

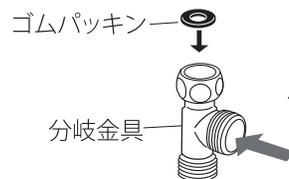
- ①固定プレートの位置が決まったら、一旦便座をはずす。便座本体右側面にある固定ボタンを押しながらはずします。
- ②固定ボルトを回らなくなるまで締め付ける。固定プレートは固定ボルト締め付け後、両手で動かしても動かないことを確認してください。
- ③再度便座を取り付け、前後左右に動かし、はずれないことを確認する。
- ④便座を上げた状態で便座が自立することを確認する。
※インパクトドライバーで施工しないでください。
(締め付けトルクの目安 1～3N・m)



分岐金具の取り付け

1 分岐金具を取り付ける

- ①ゴムパッキン(厚さ2mm)を組み込み、分岐金具を止水栓に取り付ける。
- ②分岐金具の袋ナットは、手でいっぱい締め付けてから工具で増締めする。



便座の連結ホースは必ずこちらに接続してください

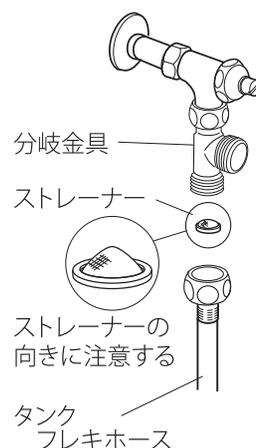


⚠ 注意

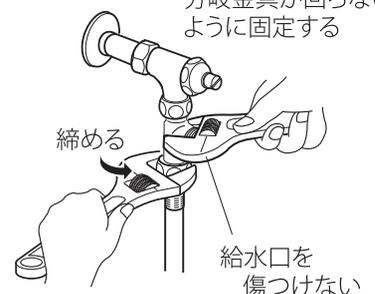
※止水栓に無理な力をかけないでください。
(破損して漏水するおそれがあります。)

2 タンクフレキホースを取り付ける。

- ①ストレーナーを組み込み、タンクフレキホースを分岐金具に取り付ける。
- ②タンクフレキホースの袋ナットは、手でいっぱい締め付けてから工具で増締めする。
※ロータンクへの取り付け方は、ロータンクの施工説明書に従ってください。



分岐金具が回らないように固定する



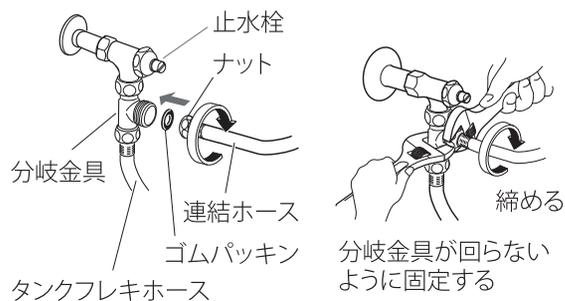
⚠ 注意

※止水栓に無理な力をかけないでください。
(破損して漏水するおそれがあります。)

連結ホースの取り付け

1 止水栓側に連結ホースを取り付ける

- ゴムパッキン(厚さ4mm)を組み込み、連結ホースの袋ナットを手でいっぱい締め付けてから工具で増締めする。
- ※止水栓に無理な力をかけないでください。(破損して漏水するおそれがあります。)



2 本体側に連結ホースを取り付ける

- ①連結ホースを本体給水アダプターに差し込みクリップで固定します。
※Oリングにゴミや傷を付けないでください。
※取り付け後にクリップを回して確実に固定されているか確認してください。
漏水の原因になります。
- ②クリップを連結ホースに差し込んだ後、クリップを折り曲げ、連結ホースと本体給水アダプターを確実に固定します。

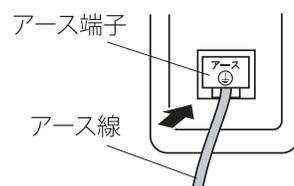


アース線の取り付け

- まだ電源プラグは差し込まないでください。
※電源プラグは水道の元栓と止水栓を開けてからコンセントに差し込みます。

アース線を取り付ける

- アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
設置場所の変更や移転のときには、アースの取り付けをしてください。



警告

アース線を確実に取り付ける

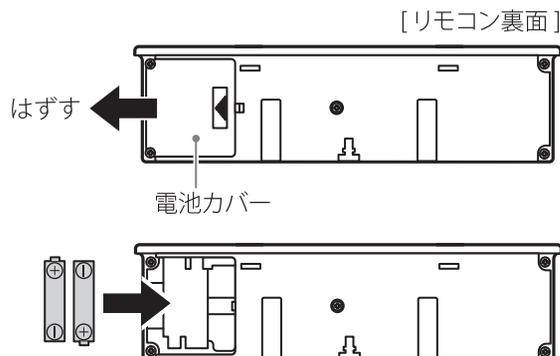
- ・アース線を取り付けないと漏電時に感電の原因になります。
- ・次のようなところへのアース線接続は法令で禁止されています。(ガス管、電話線、避雷針、水栓など)
- ・アースの取り付け(D種接地工事)は、電気工事店または販売店にご相談ください。

リモコンの取り付け

1 電池を入れる

- ①リモコン裏面にある電池カバーをはずす。
- ②単3形乾電池2個を+、-を間違えないように入れる。
- ③電池カバーをはめる。

- ※付属の電池は動作確認用です。
製品ご使用時は、新しい電池を使用してください。



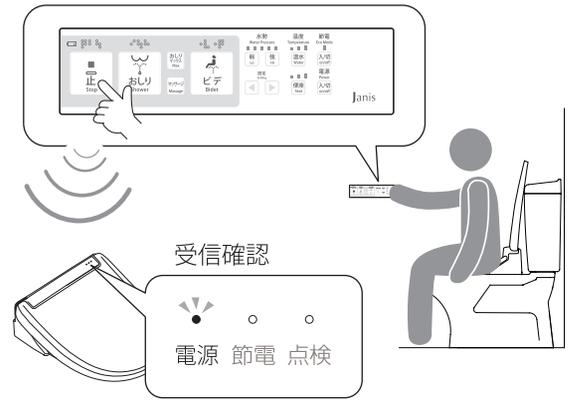
注意

- 新旧、異種の乾電池は混用しないでください。
- 付属の電池は動作確認用のため、電池寿命が短い場合があります。
- 長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 電池寿命の目安は約1年です。
- 充電タイプの乾電池は使用できなかったり、電池の使用期間が短くなります。

2 リモコンを取り付ける

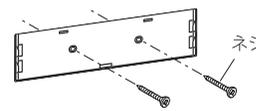
① 便座に座った状態で、ボタン操作ができる範囲で取り付け位置を決めてください。

② その位置にリモコンを保持しながら、リモコンの「止」ボタンを押して、便座本体の「電源」ランプが点滅することでリモコン信号を便座本体が受信していることを確認してください。
※確認を行うために電源プラグを差して確認し、終了後は抜いてください。

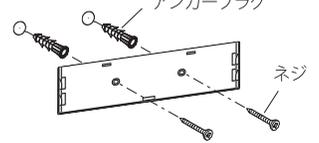


③ リモコンホルダーをネジで固定してください。
※壁が石膏ボード・コンクリートの場合は付属のアンカープラグを使用してください。
※ネジでの固定が難しい場合は、付属の両面テープを使用してください。

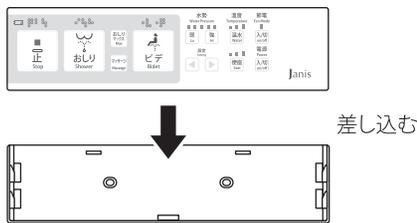
ネジ止めできる壁の場合



石膏ボードなどの壁の場合
アンカープラグ



④ リモコンホルダーにリモコンを差し込んでください。

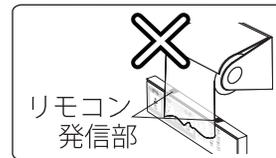


注意

● 黒っぽいトイレ内装の場合は、リモコン信号（赤外線）が吸収されて便座本体が受信できない場合があります。



● リモコン発信部周りに障害物があると、リモコン信号が妨げられ便座本体が受信できない場合があります。



リモコン信号を受信できる位置で取り付けてください。

リモコン
発信部

取り付けかた

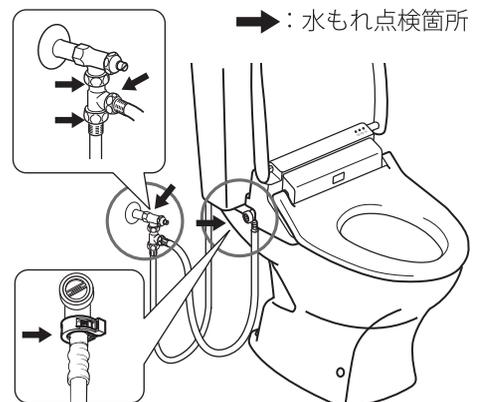
取り付け後の確認

1 止水栓を開ける



2 水もれの点検

① 給水の前に、各接続部のゆるみがないか再確認する。
② 止水栓を開いて、配管接続部から水もれがないことを確認する。
③ 本体給水接続部より水もれがないことを確認する。
※万一、水もれがある場合、水もれする接続部をはずして再度取り付ける。

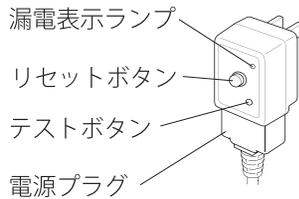


動作の確認

周囲へ水が飛び散らないように、便座と便器の間にビニールシートなどを挟んで、動作の確認を行ってください。

1 電源を入れる

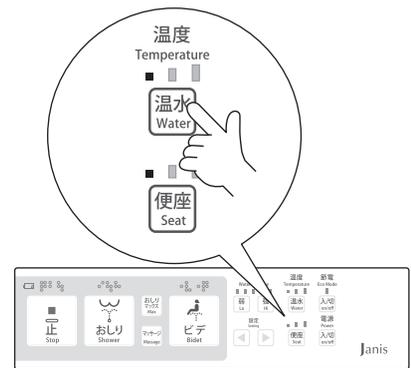
- ①電源プラグをコンセントに差し込む。
- ②5秒後に便座本体の「電源」ランプが点灯していることを確認する。
- ③電源プラグの「漏電表示」ランプが消灯していることを確認する。



電源プラグには、便座内部で漏電が起きた場合に電気を遮断する安全装置が付いています。漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押すと消灯します。

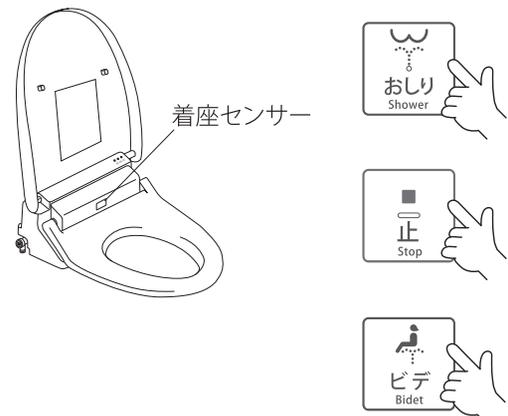
2 洗浄水・便座温度を調節する

- ①リモコンの「温水」・「便座」ボタンを押す。
- ②洗浄水と便座の温度を調節します。15ページ▶
- ③10分程度時間をおいて、洗浄水と便座が温まってきたことを確認します。



3 「おしり」および「ビデ」洗浄を確認する

- ①着座センサーを紙や布で覆う。
- ②リモコンの「おしり」ボタンを押す。
本体内部の温水タンクへの貯水が開始し、ノズルから水が出るまで数十秒かかります。おしり用ノズルが伸びて、洗浄水が吐水します。
- ③洗浄水を止めるときは、「止」ボタンを押します。
- ④リモコンの「ビデ」ボタンを押します。
ビデ用ノズルが伸びて、洗浄水が吐水します。
- ⑤動作確認後は、吐水を停止し着座センサーを覆っていた紙や布は取り除いてください。



連立トイレへの取り付け

リモコンの設定

※設定は便座本体の近くで行い、リモコンと便座本体の両方を設定してください。

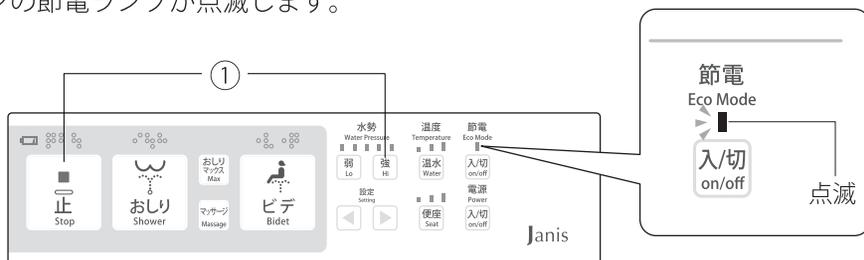
- 隣接するトイレで本製品が2台以上使用されると誤動作の原因となりますので、必ず以下の手順に従って異なるリモコンパターンに設定を変更してください。
- ※リモコンのみの設定変更では便座本体と連動しませんので、必ず便座本体への設定を行ってください。

1 便座本体の電源プラグをコンセントから抜く

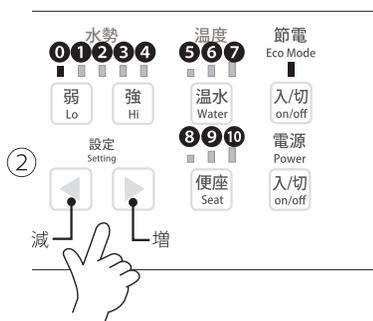
- ※リモコンパターンを変更する便座の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ※設定を行うときは、電源プラグを抜いてから10秒以上時間を空けてください。

2 リモコンの設定を変更する

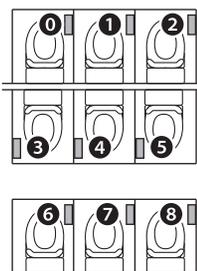
- ①「止」を押しながら水勢の「強」を3秒以上長押しするとリモコンの節電ランプが点滅します。



- ②下図の「設定」ボタンを押してランプの点灯位置を変更してください。
(初期設定は①に設定されています)



パターン設定例



隣接するトイレで本製品を使用する場合、最大11台まで設定できます。

3 「止」ボタンを押して設定を確定する

- 「止」ボタンを押すと、設定を確定しリモコンの節電ランプが消灯します。
- ※「止」ボタンで設定を確定しないと、1分後に設定モードが自動的に解除され設定を変更できません。



4 便座本体とリモコンの設定を合わせる

- ①便座の電源プラグをコンセントに差す。
- ②5秒以内にリモコンの「止」ボタンを押す。
- ③便座本体の「電源」ランプが点灯したら、リモコンの「止」ボタンを押して、便座本体の「電源」ランプが点滅することでリモコンと便座本体が連動したことを確認してください。

4ページ

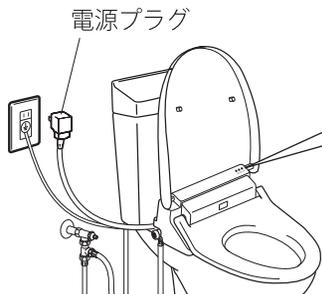
- ④リモコン操作と便座本体動作が連動できていれば作業終了です。便座本体が動作しない場合は、最初から設定し直してください。



使いかた

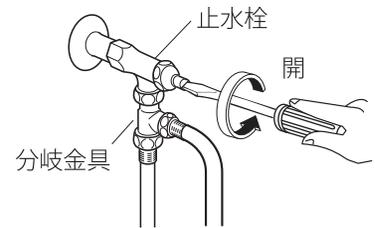
幼児、お年寄り、ご病気の方が使用するときには周りの方が注意してあげてください。

ご使用になる前に



●電源ランプの確認
電源プラグをコンセントに差し込むと5秒後に本体上部の電源ランプが点灯します。

●止水栓の確認
設置後、止水栓は開いていますか。閉じている場合は、止水栓を開けてください。



⚠ 注意

- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局所の治療・医療行為を受けている方は、使用について医師の指示に従ってください。
- 習慣的に便意を促すために使用しないでください。
また、洗浄しながら故意に排便しないでください。
- 局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
- 水道圧が低いところでは、洗浄強さが「弱」にあるとノズルが出ないことがあります。
このような時は、一度「強」にしてからお好みの強さに調節してください。
- 便座には、深く腰掛けてください。深く腰を掛けると洗浄水の飛び散りが少なくなります。
- おしり洗浄・ビデ洗浄は、2分後に自動停止します。
- ノズルの洗浄について、おしり・ビデ洗浄後に自動でノズルを洗う機能が付いています。
- 人が座っていないときに誤ってボタンを押しても洗浄水が噴出しないように着座センサーが付いています。使用するときには、便座に深く腰掛けてください。
- 便座に不適切な便ふたカバーや便座カバーを付けた場合、着座センサーが誤検知し、脱臭ファンや低温やけど防止機能を誤動作させるおそれがあります。
- 操作するボタンは、1つだけにしてください。
同時に複数のボタン操作を行うと誤動作の原因になります。

7 便ふたを開けて、便座に座る

- 着座すると着座センサーが座ったことを検知して、脱臭を開始します。

注意

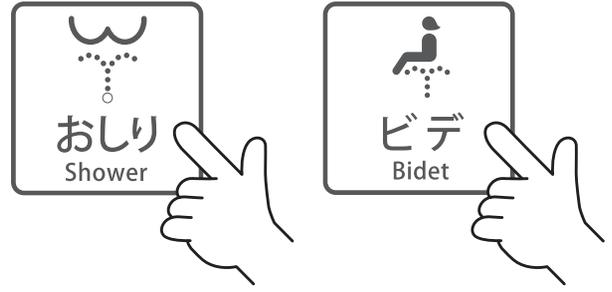
1時間以上着座すると、低温やけど防止機能が作動し、便座ヒーターが自動的に切れます。便座から立ち上がることで、低温やけど防止機能は解除されます。

20ページ



2 「おしり」または、「ビデ」ボタンを押す

- おしり洗浄または、ビデ洗浄を行います。
- ※洗浄の感じかたは、個人差があります。
- ※連続洗浄時間が2分経過すると、自動的に洗浄を停止します。



3 「マッサージ」ボタンを押す

- おしり洗浄またはビデ洗浄中にボタンを押すと、リズムカルな強弱のある洗浄を行います。
- ※マッサージ洗浄の感じかたは、個人差があります。



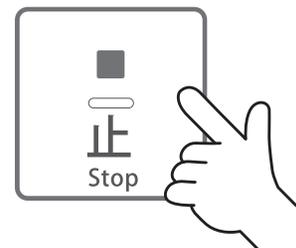
4 「おしりマックス」ボタンを押す

- 最大水勢でおしり洗浄を行います。しっかり洗浄したいときに使用してください。
- 着座した後に、直接「おしりマックス」ボタンを押しても、最大水勢で洗浄を開始します。
- もう一度「おしりマックス」ボタンを押すと、通常のおしり洗浄へ切り替えます。
- ※おしり用ノズルのみでの機能となります。
- ※ビデ洗浄では使用できません。



5 「止」ボタンを押す

- 洗浄を停止します。
- 洗浄停止後、ノズルが便座本体に収納されノズル洗浄を行います。
- ※ノズル洗浄時に水が便器内へ落ちますが、故障ではありません。

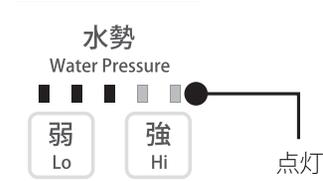


6 便座から立ち上がる

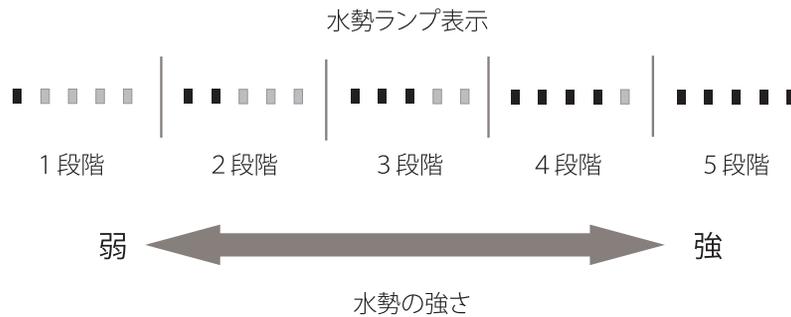
- 通常の脱臭から強力脱臭が作動し、さらにおいを取り除きます。1分後に自動停止します。

水勢の調節

- おしり洗浄またはビデ洗浄中に「強」または「弱」ボタンでお好みの強さに調節してください。ボタンを押すたびに表示ランプと強さが変わります。5段階の水勢調節ができます。



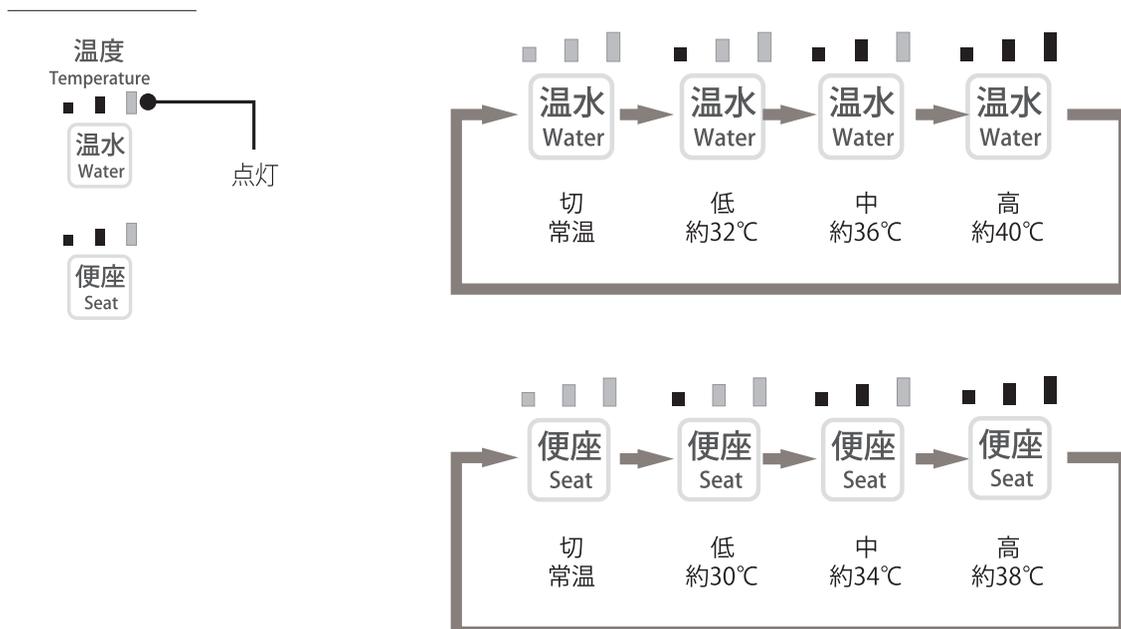
- マッサージ洗浄時は、
1段階～3段階設定：1段階 ⇔ 3段階 強弱洗浄
4段階設定：1段階 ⇔ 4段階 強弱洗浄
5段階設定：1段階 ⇔ 5段階 強弱洗浄を行います。



温水・便座温度の調節

リモコンの各表示ランプが全て消灯しているときに、「温水」、「便座」ボタンを押すと現在の設定状態を確認できます。設定を変えるときは「水勢」表示ランプが点灯している間に「温水」、「便座」ボタンを押すことで設定を切り替えることができます。

- 「温水」、「便座」ボタンを押して温水、便座をお好みの温度に調節してください。ボタンを押すたびに表示ランプと温度が変わります。4段階の温度調節ができます。

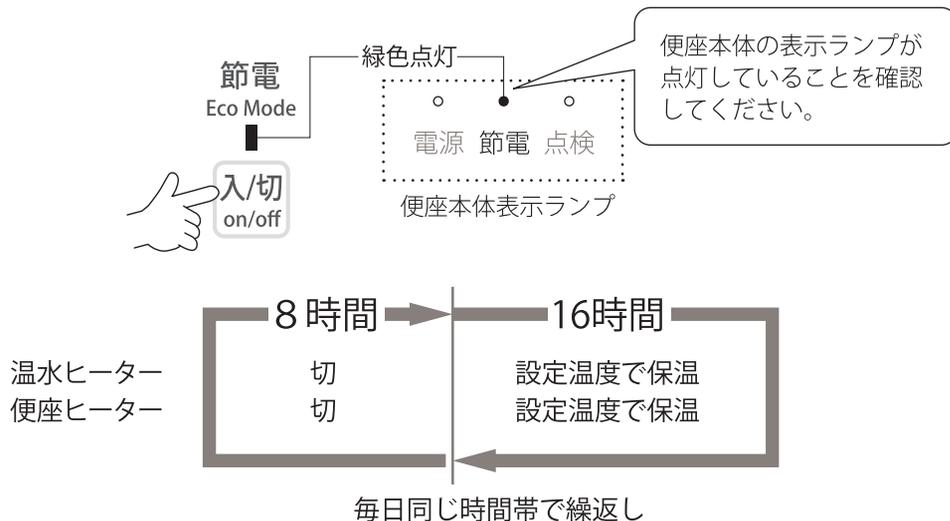


節電の設定

リモコンの各表示ランプが全て消灯しているときに、「節電」ボタンを押すと現在の設定状態を確認できます。設定を変えるときは「水勢」表示ランプが点灯している間に「節電」ボタンを押すことで設定を切り替えることができます。

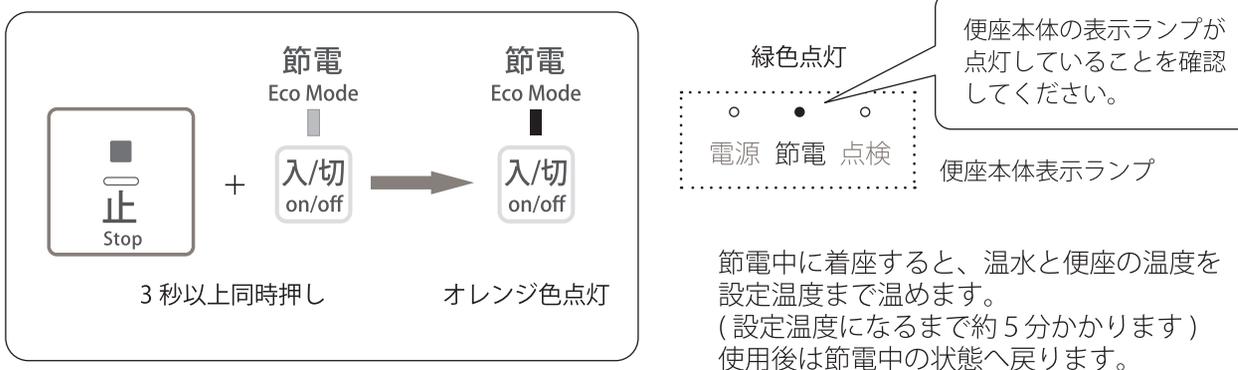
■ 8時間切タイマー節電

- 夜間などの使用しない時間帯に温水と便座のヒーターを切り、消費電力を抑える節電機能です。
- 「節電」ボタンを押して表示ランプが緑色点灯した時点から8時間の間、温水と便座のヒーターを切ります。その後、温水と便座のヒーターが入り16時間の間、設定温度で保温します。設定が解除されるまで、毎日同じ時間帯で繰り返します。
- 設定中はリモコンと便座本体の「節電」ランプが緑色点灯します。
- 設定を解除するには、「節電」ボタンを押して表示ランプを消灯にしてください。



■ 低温節電

- 使用していないときに低温で保温し、消費電力を抑える節電機能です。
- 「止」と「節電」ボタンを3秒以上同時押しして、リモコンの節電ランプがオレンジ色点灯したら低温節電を開始します。
- 設定中はリモコンの「節電」ランプがオレンジ色点灯し、便座本体の「節電」ランプが緑色点灯します。
- 設定中は温水を約25℃、便座を約30℃で保温します。
- 設定を解除するには、「節電」ボタンを押して表示ランプを消灯にしてください。



その他の節電のしかた

- 便ふたを閉じる
使用していないときは便ふたを閉じておくと、便座表面からの放熱を減らすことができ、節電になります。
- 温度設定を低めに
季節に応じて、冷たさを感じない範囲で設定温度を低めに調節すると、節電になります。
- こまめに電源を切る
外出するとき、長時間使用しないときは、リモコンの「電源」ボタンを押して電源を「切」に設定すると節電になります。 [17ページ](#)

自動脱臭の解除

着座すると自動で脱臭を開始する自動脱臭機能の入/切が設定できます。

- 初期設定では、自動脱臭機能は「入」で設定されています。
- 「止」+「おしりマックス」ボタンを3秒以上同時押しすることで、設定が「切」に切り替わります。再度「入」設定へ切り替える場合は、同じ操作を行ってください。



3秒以上同時押し

リモコンでの電源操作

外出するとき、長期間使用しないときは、便座本体の電源を「切」に設定すると節電になります。

- リモコンの「電源」ボタンを押す。
- 便座本体の「電源」ランプが消灯で「切」、点灯で「入」と切り替えることができます。

注意

洗浄動作中またはリモコンの洗浄操作後2分間(水勢表示ランプ点灯中)は、電源操作ができません。一旦、「止」ボタンを押して洗浄操作を停止した後、電源操作を行ってください。



知っておいていただきたいこと

着座センサーで誤動作を防止します。

人が座っていないときに誤ってボタンを押しても洗浄水が噴出しないう着座センサーが付いています。

※便座に座らないと、「おしり洗浄」「ビデ洗浄」の各機能は動きません。

※不適切な便座用カバー、便ふた用カバーを付けた場合、着座センサーが入りっぱなしになることがあります。

また、カバーのフックやボタンにより便座の破損につながる場合があります。

着座センサーは、光の反射を利用していますので次の場合には作動しないことがあります。

- 前にかがんだり、前よりに座った場合。便座に深く座るなど、座り方を変えてみてください。
- 黒色や、毛羽立った生地などの光が反射しにくい衣類を着ている場合。センサーに手をかざすなどしてください。
- センサーに汚れや水滴などが付着している場合。汚れや水滴などを取り除いてください。

温水になるまで約15分かかります。

「おしり洗浄」および「ビデ洗浄」を長時間使用すると洗浄水の温度が次第に低下して最後は水になります。

節電中に使用すると水の場合があります。温水になるまで約15分かかります。

便座・便ふたはやさしく閉じてください。

便座・便ふたには、閉じたときの衝撃をやわらげるため、ゆっくり閉じるようにスローダウン機構が装備されています。強引に閉じると故障の原因になることがありますので注意してください。

冬季など気温が低いとき

冬場の水温が低い時、室温が低い時には設定温度まで上がらない場合があります。

また、洗浄時間が長くなると温水温度が低下します。必要に応じて洗浄を一旦停止し、しばらくしてから洗浄を開始してください。

リモコンからの信号受信を便座本体表示ランプでお知らせします。

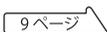
リモコンからの信号を便座本体が受信したとき、便座本体の「電源」ランプが点滅し、受信したことをお知らせします。また、リモコン信号受信時の受信音機能はありません。

リモコン信号の受信について

黒っぽいトイレ内装の場合は、リモコン信号(赤外線)が吸収されて便座本体が受信できない場合があります。

また、リモコン発信部周りに障害物があると、リモコン信号が妨げられ便座本体が受信できない場合があります。

リモコンの電池交換について

リモコンの電池交換サインが点滅している場合は、電池を交換してください。 

電池交換後、リモコンの「水勢」「温水」「便座」「節電」設定は初期設定状態に戻りますので、再度設定し直してください。

お手入れのしかた

⚠ 警告



必ず行う

お手入れのときは安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。お手入れが終了したら、電源プラグをコンセントの奥までしっかり差し込んでください。

⚠ 注意

汚れは水をふくませた柔らかい布、またはうすめた台所用中性洗剤をふくませた布でふき取ってください。

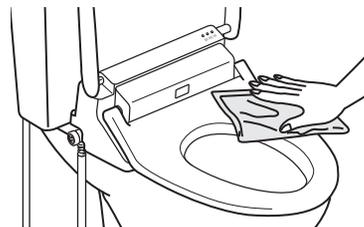
- シンナー・ベンジン・トイレ用洗剤・住宅用洗剤・薬品でふいたり、殺虫剤・芳香剤・消臭剤をかけたりしないでください。
- クレンザーや磨き粉が入っている洗剤やたわしは使用しないでください。変色・変形・キズの原因となります。
- 便器の清掃に使用するトイレ用洗剤は、便座本体に付かないようにしてください。
- 酸性やアルカリ性の洗剤は使用しないでください。気化ガスが便座本体に入り、腐食・故障の原因となります。
- 乾いた布やトイレットペーパーでこすらないでください。キズの原因となります。

便器内を洗剤でお手入れするときは

- 便器の清掃に使用するトイレ用洗剤および消毒剤などは、早め(3分以内)に洗い流した後、便座・便ふたをあけたままにしておいてください。また、便座・便器についた洗剤は確実にふき取ってください。酸性やアルカリ性の洗剤を使用すると気化ガスが便座本体内に入り、故障の原因となります。

日常のお手入れ

- ①電源プラグをコンセントから抜く。
 - ②水でぬらした柔らかい布をよくしぼってからふく。
 - ③汚れがひどいときは、中性洗剤を柔らかい布に含ませてふき取り、そのあと水ぶきする。
 - ④お手入れがおわったら、電源プラグを差し込む。
- ※除菌シート、化学ぞうきんなどをご使用の際は、その注意書きに従ってください。



念入りなお手入れ

■ 便ふたをはずして、お手入れ

- 便ふたを取りはずして、隅々までお手入れできます。

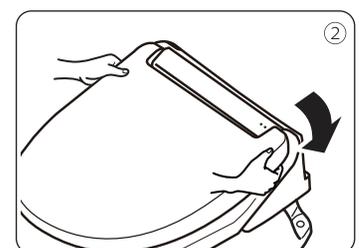
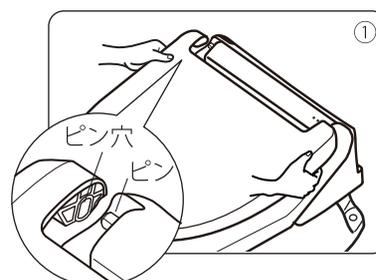
■ 便ふたのはずしかた

- ①便ふた右側のピン穴を外側に開き、ピンからはずして浮かせる。
- ②便ふたを左側にずらして、便ふたをはずす。



■ 便ふたの取り付けかた

- ①便ふた左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込む。
- ②便ふた右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便ふたを取り付ける。

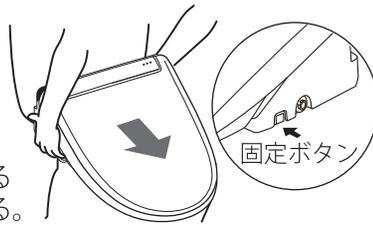


■ 本体をはずして、お手入れ

●便座本体を取りはずして、裏側や便器の上面をお手入れできます。

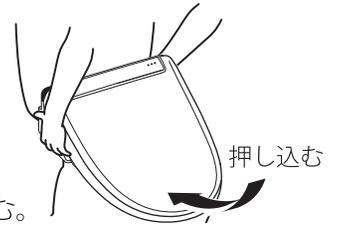
はずしかた

- ①止水栓をマイナスドライバーで閉める。
- ②本体右側にある固定ボタンを押しながら手前に少し持ち上げるようにスライドさせる。



取り付けかた

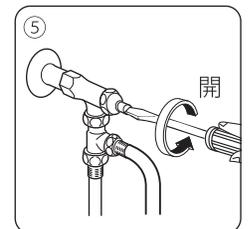
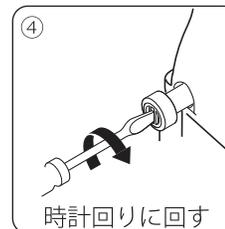
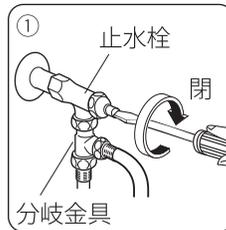
手前を少し浮かせるようにして、本体を本体固定プレートが見えなくなるまで奥にゆっくりスライドさせる。カチッと音になるまでしっかり押し込む。



■ ストレーナーのお手入れ

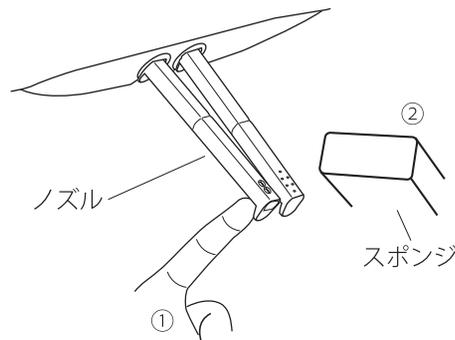
●ストレーナーが詰まると洗浄水の水勢が弱くなりますのでお手入れしてください。

- ①止水栓をマイナスドライバーで閉める。
- ②ストレーナーをマイナスドライバーで回して取りはずす。
- ③ストレーナーに付いているゴミを水洗いして完全に取り除く。
- ④ストレーナーをマイナスドライバーでしっかり奥まで締め付ける。ゴミがOリングに付着していないことを確認して組み付ける。
- ⑤止水栓を元の位置までマイナスドライバーで開ける。



■ ノズルをお手入れ

- ①ノズルを手で引き出す。
- ②汚れを落とす。スポンジなどで清掃する。



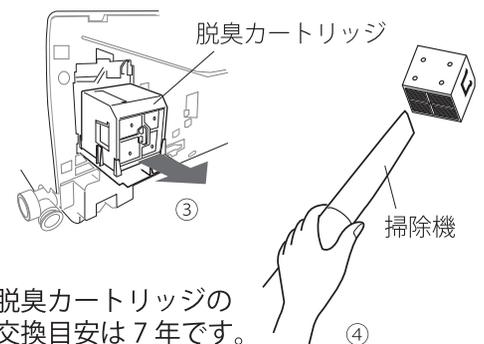
お願い

歯ブラシは使用しないでください。
※ノズル穴にはさまり、洗浄水が出なくなることがあります。

■ 脱臭カートリッジのお手入れ

●においが気になるときは、脱臭カートリッジの掃除を行ってください。

- ①止水栓をマイナスドライバーで閉める。
- ②電源プラグを抜き、本体を便器から取りはずす。
- ③本体裏面にある脱臭カートリッジ取付口を開け、脱臭カートリッジを取り出す。
- ④脱臭カートリッジのほこりを、掃除機などで取り除く。
- ⑤脱臭カートリッジを元の通りに差し込み、脱臭カートリッジ取付口を閉じる。
- ⑥本体を便器に取り付ける。
- ⑦止水栓を元の位置までマイナスドライバーで開ける。



※脱臭カートリッジの交換目安は7年です。

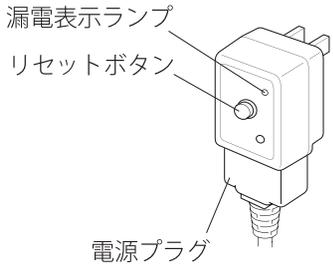
■ 本体内部の水抜き

●便座本体内部の水抜きをして沈殿物を排出してください。ノズルの穴が詰まる原因になります。(3ヶ月に1回程度)

※水抜きの方法は、凍結防止についての「水抜きの方法」に従ってください。 21ページ
水抜き後の再通水の方法は、取り付けかたの「取り付け後の確認」に従ってください。 10ページ

異常報知について

本体に異常が発生すると本体表示ランプが点滅・点灯してお知らせします。

本体表示ランプ			原因	処置
電源	節電	点検		
 (点滅)	—	 (点灯)	便座ヒーターの異常	ご使用をやめて 電源プラグを抜いて 点検・修理をご依頼ください。
 (点灯)	 (点滅)	 (点灯)	温水ヒーターの異常	
 (消灯)	 (消灯)	 (点滅)	温水・便座ヒーターの異常	
 (点滅)	 (点滅)	 (点滅)	低温やけど防止機能作動中	一度立ち上がり、低温やけど 防止機能を解除してください。
漏電表示ランプ			漏電の検知	リセットボタンを押しても、 再度ランプが点灯する場合は ご使用をやめて 電源プラグを抜いて 点検・修理をご依頼ください。
 (点灯)				
				

凍結防止について

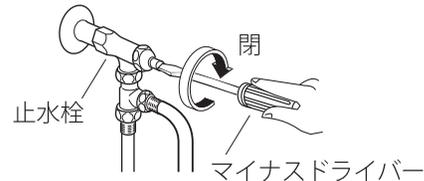
凍結しそうなときは

- 他の器具でトイレ内を暖房してください。※暖房器具の注意書きに従って使用してください。暖房器具の熱源を近づけると便座本体が変形するおそれがありますので、注意してください。
- 「節電」を使用しないでください。
- 配管部は、市販の凍結防止用テープヒーターを取り付けてください。
- トイレ内を暖房できない場合は、下記の手順で水抜きをしてください。
- 万一、凍結してしまったときは、便座本体内部や配管の自然解氷を待ってから使用してください。

水抜きの方法

1 止水栓を閉める

止水栓をマイナスドライバーで閉める。

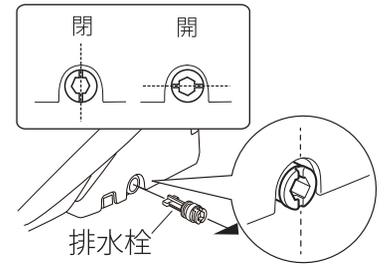


2 ロータンクのレバーを回し、ロータンクの水を抜く

3 電源プラグをコンセントから抜く

4 本体内部の水抜きをする

- 本体右側面の排水栓をはずして、温水タンクから水を抜きます。
 - ①あらかじめ水受け(約1L以上入るもの)を用意してください。
 - ②マイナスドライバーを使って排水栓を反時計方向に90°回してはずす。
※出し始めは水の勢いが強い場合があります。
 - ③温水タンク内の水を抜く。

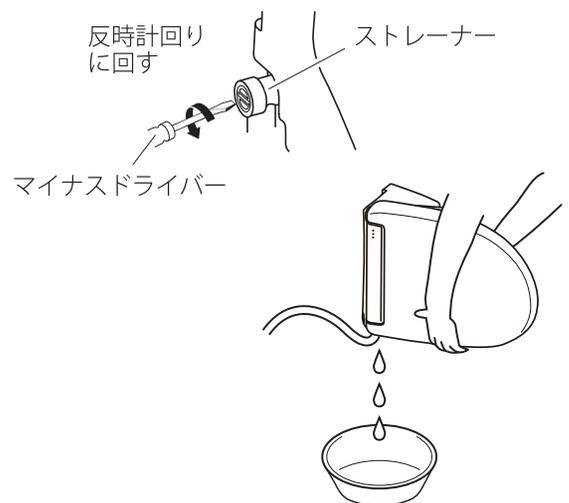


5 水抜き後、排水栓を取り付ける

水抜き完了後、マイナスドライバーを使って排水栓を時計方向に90°回して閉める。

6 連結ホースから水を抜く

- ①ストレーナーの下に水受けを置き、ストレーナーをマイナスドライバーで反時計回りに回してはずす。ストレーナーやOリングに付いているゴミを水洗いして取り除く。
- ②本体を便器から取りはずす。固定ボタンを押しながら手前に引いてください。 [19ページ](#)
- ③本体を傾けてストレーナー取付口から連結ホース内の水を抜く。
- ④水抜き完了後、ストレーナーをマイナスドライバーでしっかり締め付ける。



7 本体バルブ内の水を抜く

- ①電源プラグをコンセントに差し込む。
- ②着座センサーを手で覆って「おしり」を押してください。
- ③約5秒後に「止」を押してください。

水抜き後の再通水の方法

再び通水するときは、取り付けかたの「取り付け後の確認」を行ってください。 [10ページ](#)

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次のことを調べてください。

症 状	確認するところ	処 置	ページ
全く動かない リモコンを操作しても動かない	・電源ランプが消灯していませんか。	・リモコンの「止」ボタンを押した後、「電源」ボタンを押してください。	17
	・電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	・電源プラグを奥まで差し込んでください。電源プラグを差し込み直すときは、10秒程度時間をあけてください。	11
	・漏電していませんか。 電源プラグの表示ランプが点灯していませんか。	・電源プラグのリセットボタンを押してください。それでも点灯するようであれば、漏電していますので電源プラグを抜き修理依頼してください。	11
	・電池交換ランプが点滅していませんか。	・電池を交換してください。	5, 9
	・リモコンパターンの設定が変わっていませんか。	・リモコンパターン設定を行ってください。	12
	・リモコンの発信部、便座本体の受信部に障害物はありませんか。	・障害物を取り除いてください。	10, 17
	・リモコンの発信部、便座本体の受信部が汚れていたり、水が付いていませんか。	・汚れや水を取り除いてください。	4, 5
	・インバーター照明等を使用していませんか。	・照明を消して動作を確認してください。正常動作した場合は、製品の異常ではありません。	—
洗浄水が出ない	・止水栓が閉じていませんか。	・止水栓を開けてください。	10
	・着座センサーに汚れ水滴などが付着していませんか。	・汚れや水滴を取り除いてください。	—
	・着座センサーが検知していますか。	・便座に深く座るなど、座り方を変えてください。	4, 17
	・着座センサーが検知しにくい服を着ていませんか。	・着座センサーに手などがざしてください。	4, 17
	・温水タンクが満水になっていますか。	・温水タンクへ給水してください。	11
温水の温度が低い・冷たい	・温水の温度が調節されていますか。	・温水の温度を調節してください。	15
	・長時間洗浄しましたか。	・約15分で温かくなります。貯湯式のためおしり/ビデの使用時間に応じて洗浄水の温度が低下しますが異常ではありません。	17
	・節電中ではありませんか。	・節電を解除してください。	16
水勢が弱い	・水勢が「弱」になっていませんか。	・水勢の「強」を押します。洗浄強さを一番強くすると湯切れが早くなるので注意してください。	15
	・止水栓が十分に開いていますか。	・止水栓を十分に開けてください。	10
	・ストレーナーが目詰まりしていませんか。	・ストレーナーを掃除してください。	19
便座の温度が低い・冷たい	・便座の温度が調節されていますか。	・便座の温度を調節してください。	15
	・節電中ではありませんか。	・節電を解除してください。	16
長く座っていると便座がぬるくなる	・1時間以上座っていませんか。	・一度立ち上がり、低温やけど防止機能を解除してください。	13

症 状	確認するところ	処 置	ページ
脱臭ファンが回らない	・脱臭が「切」に設定されていませんか。	・脱臭を「入」に設定してください。	17
脱臭ファンが回りっぱなしになる	・着座センサーに紙・布・ゴミ等が付着していませんか。	・着座センサーを掃除してください。	4, 17
	・不適切な便ふたカバーを取り付けていませんか。(着座センサーにカバーがかかっていませんか)	・便ふた用カバーをはずして使用してください。	13
脱臭効果が弱くなった	・脱臭カートリッジにホコリなどが付着していませんか。	・脱臭カートリッジを掃除してください。	19
	・脱臭カートリッジの寿命ではありませんか。	・脱臭カートリッジを交換してください。	19
本体がガタつく ずれる	・本体がロックされていますか。	・本体をしっかり奥まで押し込んでください。	7
	・本体固定プレートがゆるんでいませんか。	・本体の固定プレートの固定ボルトをプラスドライバーで締め付け直してください。 便器から便座本体をはずす場合は、必ず固定ボタンを押しながら便座本体を手前に引き出してください。	7, 8
点検ランプが点灯している	・節電ランプが点滅している。	・温水ヒーター異常です。電源プラグを抜いて修理を依頼してください。	20
	・電源ランプが点滅している。	・便座ヒーター異常です。電源プラグを抜いて修理を依頼してください。	20
操作を行うと電源ランプが点滅する	・正常です。リモコン信号を受信すると電源ランプが点滅する仕様になっています。	・リモコンと便座本体との信号送受信状態をお知らせする機能ですので、そのまま使用してください。	4
漏水している	・連結ホース等がゆるんでいませんか。	・止水栓を閉めて連結ホース等を正しく取り付け直してください。	9
	・湿度が高く結露していませんか。	・こまめにふき取ってください。 また、換気を十分にしてください。	—
2台以上の製品が同時に動作する	・トイレの壁を越えて隣接する製品の信号を受けていませんか。	・リモコンパターンを変更してください。	12
本体からグググッと音がする ・電源プラグをコンセントに差し込んだとき ・「電源」ボタンを押したとき ・便座から立ち上がったとき		・故障ではありません。便座本体が正常に作動するためにモーターが動いている音です。水勢の調節、洗浄位置に異常なければ正常です。	—
便座裏側にある後ろ脚(奥の出っぱり)が便器に付いていない(浮いている)		・故障ではありません。後ろ脚は浮く設計になっていますのでそのまま使用してください。	—
以前使用していた製品と比べ、動作の速さや洗浄水の強さが異なる		・他機種からの買い替えの場合、以前の製品と構造が異なるため、交換前のものと比べ動作の速さや洗浄水の強さが異なります。 製品の特性であり、故障ではありません。	—

上記のことをお調べになり、それでも異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または当社へご連絡ください。

項目	内容	
品番	JCS-320DRN	
定格電源	AC100V 50/60Hz	
定格消費電力	349W (本体304W、便座 45W)	
省エネ区分	貯湯式	
年間消費電力量 (2012年基準)※1	166kWh/年 (節電機能切時：233kWh/年)	
外形寸法	幅416mmX奥行533mmX高さ185mm	
給水方式	水道直結式	
商品質量	約4.0Kg	
電源コード	有効長さ：約1.0m (アース線付)	
使用水圧範囲 ※2	0.069MPa (流動時)～0.735MPa (止水時)	
使用温度範囲	室温3～40℃、水温3～35℃	
洗浄	給湯方式 (タンク容量)	貯湯式 (0.67L)
	おしり吐水量	0.27～0.57L/分 (5段階調節) 供給水圧0.2MPaのとき
	ビデ吐水量	0.45～0.65L/分 (5段階調節) 供給水圧0.2MPaのとき
	温水温度	水温、約32℃、約36℃、約40℃
	安全装置	温度ヒューズ・空焚き検知回路・高温感知スイッチ
暖房便座	表面温度	室温、約30℃、約34℃、約38℃
	安全装置	温度ヒューズ
脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式
	脱臭能力	着座脱臭時：0.11m ³ /分 強力脱臭時：0.14m ³ /分
リモコン電源	単3形アルカリ乾電池2本	
その他の安全装置	電源コード (漏電保護機能)、着座センサー (内蔵)	

※1：省エネ法 (2012年度基準) に基づいて、便座サイズや湯沸し方式などの種類別の算定式により4人家族 (男性2人、女性2人) で1日あたり、おしり洗浄4回、ビデ洗浄8回、男性小用4回で使用した場合を基準に算出したものです。
タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間と使用率で算出しております。

()内は、タイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力量となります。

※2：使用水圧範囲以外では、十分な性能が得られない場合があります。

安全・安心にお使いいただくために

日常点検

点検項目	
電源コードが熱くなっていませんか？傷んだり、挟みこんだりしていませんか？	故障したまま使い続けると、火災や感電、室内浸水の原因になります。異常や故障に気づいたら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜き、止水栓を閉め、お買い上げの販売店、または当社に連絡してください。
暖房便座が異常に熱いときや温かくならないときはありませんか？	
暖房便座の開閉はスムーズですか？ガタツキはありませんか？	
配管や本体から水もれしていませんか？	
こげたにおいはしませんか？異音・異臭はありませんか？	
本体や暖房便座にひび割れはありませんか？ゴム脚ははずれていませんか？	

定期点検のおすすめ

- 定期点検
安全に末永く快適にご使用いただくために約5年を目途に定期点検を受けていただくことをおすすめします。(定期点検に要する費用は有料となります)
- 逆流防止装置の点検
逆流防止装置が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になりますので点検が必要です。有料になりますが、定期的な点検を受けていただくことをおすすめします。
- 定期的な部品の交換のお願い。
部品が磨耗・劣化すると水もれの原因になりますので交換が必要です。
※磨耗・劣化する部品について：止水栓・温水タンク・洗浄ノズル・便座・便ふた・スローダウン機構・脱臭ファンなど。
※部品交換については、お求めの販売店または当社にご依頼ください。製品状況により、磨耗箇所以外の部品の交換も必要な場合があります。



愛情点検

長年ご使用の温水洗浄便座の点検を!

こんな症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・本体が異常に熱い。・異常なおいがする。
- ・その他の異常故障がある。

➔

ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店又は当社に相談してください。

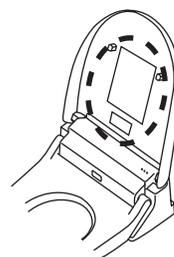
製品の長期使用に関する本体表示について

- 製造年表示
経年劣化により事故に至るおそれがあることをお知らせするために、本体に製造年を西暦4桁で表示しております。
※「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。
- 想定安全使用期間
一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

 **警告**

【想定安全使用期間】10年

想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガ等の事故に至るおそれがあります。



●標準使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	—
想定時間	4人家族(男性2人、女性2人)において、大便：1回/日・人、小便男性：4回/日・人、小便女性：4回/日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ15秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

保証とアフターサービス

保証書と保証期間について

- この温水洗浄便座には、無料修理保証書が付いています。
- 無料修理保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。（保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。）
- 保証期間経過後の修理については、販売店または当社にご相談ください。
- 修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。
- 当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスを依頼されるときは

- 温水洗浄便座が正常に動作しないときは、「故障かな？と思ったら」をご覧ください。
- それでも正常に動作しないときはすぐに使用を中止し、必ず電源プラグを抜き止水栓を閉めてから、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。
- アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

- ①製品番号、取付日、ご住所、お名前、電話番号
- ②品番：(例) JCS-320DRN（便ふた内部に貼ってあるラベルに表示しています。）
- ③現象：できるだけ詳しくご説明ください。
- ④訪問ご希望、道順（付近の目印も）

転居されるときは

- 転居で、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い上げの販売店にご相談ください。ご転居先での取扱店を紹介いたします。
- ※再設置に要する費用は、保証期間内であっても有料です。

部品の保有期間

- 当社は、この温水洗浄便座の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年保有しています。

JCS-320DRN 保証書

出張修理

本書は、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生したときは、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼ください。※お買い上げ日・お客様・販売店の欄に記載のない場合は無効になります。必ずご記入ください。

型名： JCS-320DRN

お買い上げ日 年 月 日 保証期間 お買い上げ日より 2 年

ご住所
お客様： ー
お名前
ー
ご住所
販売店： ー
お名前

無料修理規定(保証規定)

- 取扱説明書・ラベルなどの注意書にそった正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合に、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合に、お買い求めの取扱い店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答などで本書に記載の取扱い店に修理を依頼できない場合、当社にご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合は有料修理とさせていただきます。
 - (イ) 使用・維持管理上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷。
 - (ロ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧など、その他の損傷がある場合。
 - (ハ) 消耗品の劣化に伴う故障および損傷。
 - (ニ) 本書の提示がない場合。
 - (ホ) 本書に取付日・お客様のお名前・取扱店の記入のない場合、あるいは字句が書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

修理年月日	損傷と処置	サービス担当者

ジャニス工業株式会社

本社：〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 TEL(0569)35-3151 FAX(0569)34-6634

修理のご依頼および消耗部品のご注文は下記の「修理受付専用フリーダイヤル」へ

フリーダイヤル  0120-117-817

受付時間 平日 9:00~17:30 (土・日・祝日・夏季休暇・冬季休暇を除く)